

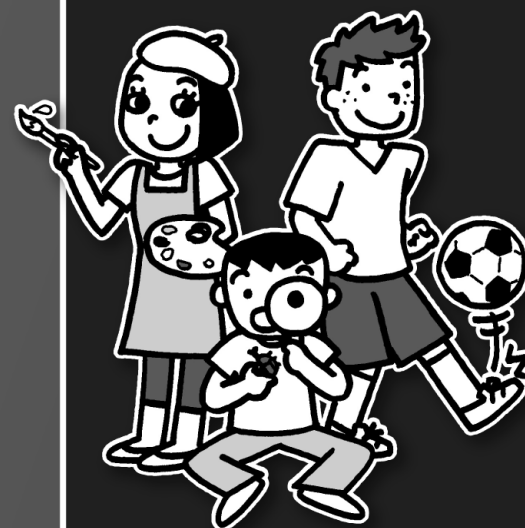
親子で考える 中学進学

大阪私立中学校編

よい中高一貫教育とは、生徒と保護者の両方にとって満足度が高いこと

最近では一般的になってきた中高一貫教育。でも意外と中高一貫教育のほんとうの良さを理解している方は少ないようです。中高一貫教育はこれまでの教育環境やカリキュラムの欠点を補って、子どもたちの個性や能力を最大限に伸ばそうという点では優れた教育システムです。

といっても、そこで学ぶのはやはりそれぞれに個性を持った子どもたちです。子どもの気持ちや考えを軸にしながら、保護者も一緒に考えて相談し、子どもたちが目指すべき将来の目標のためにサポートしていくことが大切。その目線で中高一貫教育校の選び方を考えてみました。



1 個性

子どもたちには
個性がいろいろ
私立中学にも
特徴がいろいろ

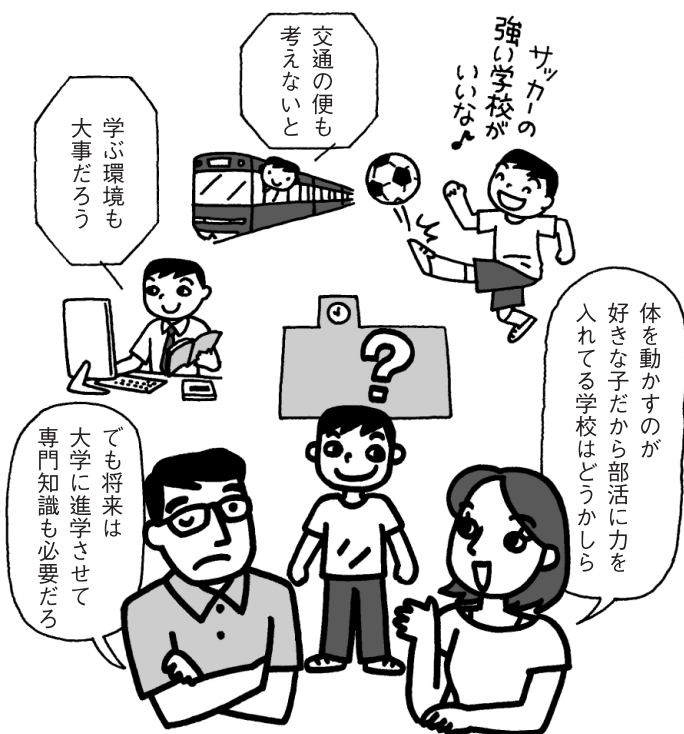
小学生の高学年にもなれば、子どもたちにも自我が芽生えてきます。しかしだからといって、子どもの判断だけを鵜呑み(つの)みにせず、保護者が適切なアドバイスとともに、ある程度の方向性を決めてあげることが大切です。中学・高校の6年間を学ぶのですから、子どもたちの個性や将来の目標をきちんと踏まえたうえで、どんな中学校を選ぶかはとても大切な保護者の務めなのです。

子どもの個性と学校の特徴が合えば、中高一貫教育は子どもの能力をぐんぐんと伸ばしていきます。例えば、私学は教師の異動が少なく、ある程度教師が固定しています。6年間という長いスパンで生徒とふれあっていくわけですから、学習状況だけでなく子どもの変化にもよく目が行き届くことにもなります。

受験はあるものの、私学の場合は子どもに個性に合わせて学校を選ぶことができます。多感な年頃の子どもの心を守る保護者にとって、これほど安心で心強いことはありません。

一方、学校にもさまざまな特徴があります。特に私学の場合は独自の強い「建学の精神」があります。「子どもたちをこのように人間に育てたい」「このように生徒たちを大学へ導いていきたい」という学校の方針です。私学はそうした理念に基づいて教師を選び、カリキュラムを組み、クラブ活動や課外活動も行なうわけですから、子どもたちの個性と学校の特徴が合っているかどうかは、子どもたちの将来を決めるかもしれない「学校選び」の一番大切なポイントです。

ですから、私学の学校選びは子ども任せにせず、また保護者の独断で押しつけることもせず、入試説明会などで学校側の意見をしっかりと聞き、教育理念や方針を十分理解することが重要です。そして子どもの個性を考え、子どもの意見を聞き、保護者の方が一緒に考えて子どもたちの将来も見据えながら考えることが大切です。



いま注目される中高一貫教育の魅力

2 環境

大切な思春期の
6年間を
同じ志の仲間と
過ごすことの意義

中学・高校時代は、子どもたちの人格形成にとってとても大切な時期です。特に中学時代をどんな仲間や先生、どのような環境で過ごすかは社会に出てからも生涯を左右する、といっているくらい意味のある期間です。

中高一貫教育校は、同じ志を持った仲間たちが集まっています。学習の目標だけではなく、姿勢、興味、向上心……。いわば生涯の友となり、良きライバルとなる「仲間」たちと一緒に、6年間を切磋琢磨(せつさくさくま)し合うわけです。

横のつながりもそうですが、縦の絆、つまり先輩たちもまた同じ志を持った「仲間」です。それと同時に、先輩たちはいかに身近で、それでいて気心の知れた「大人」であるともいえるでしょう。

また保護者どうしの意識についても同じです。同じ校風のもとに集まってくる子どもたちの個性や考え、教育に対する意識を持った人たちの比率が高いといえます。つまり、保護者どうしの「コミュニケーション」にも共通した絆が生まれ、いって過言ではないでしょう。

そういう意味でも、この中高一貫教育校を選ぶかは、子どもも保護者も双方が満足する学校を選ぶことが大切です。

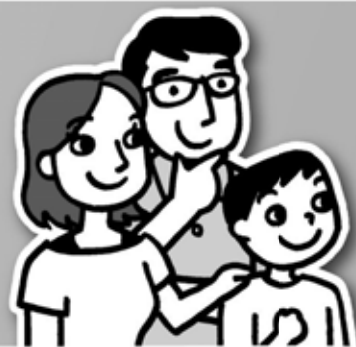
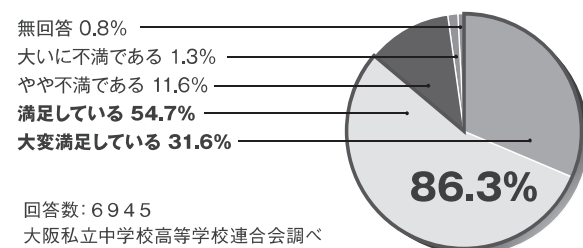


広告

企画・制作／読売新聞大阪本社広告局
企画監修／大阪私立中学校高等学校連合会

データにみる私立中学進学情報

私立中学に進学した生徒たちは、いま在籍している学校にどのくらい満足しているのでしょうか。在学生に緊急アンケートを実施し、学校に対する満足度を調査しました。その結果、約86%が「満足している」と回答しています。



子どもの個性と才能を環境で伸ばす



中高一貫の
6年間の計画的な
カリキュラムで
万全の受験体制

高校段階では、高校2年までで高校3年までのカリキュラムをこなし、残りの1年間で受験対策にあてるといいうところが少なくありません。そういった中高一貫教育校は詰め込み主義のように思われるかもしれませんが、かえって逆です。私立では週6日制を敷いているところも多く、公立の週5日制より授業時間を多く確保することができ、その分ゆとりのカリキュラムを組むことができるのです。

また6年の間に高校受験を挟むことがないため、受験勉強でカリキュラムの流れを中断されることがなく、ゆとりを持って学習に取り組むことができます。計画的・体系的にカリキュラムを組み理解を深めるために時間を費やすこととなります。

こうした体系的なカリキュラムは、生徒の学習時間を有効に使えるだけではありません。高2までに高校で学ぶべき多くの取り組みを終え、高3の1年間で受験を目指すことではっきりとした動機と目的意識が芽生えてきます。いわば基本がしっかりと出来ているからこそ、受験のためのプログラムもしっかりと作動し、その結果として目指すべき進路にも自覚を持って取り組めるのです。



2013年入試 大阪私立学校展 関西最大規模の私学紹介イベント

入場無料

大阪の全私立(中学63校／高校102校)が一堂に集結。ここへ来れば、希望する学校のパンフレットや資料が手に入ります。あこがれの制服も多数展示していますので必見です。また、進学相談コーナーでは全私立中学・高校の入試担当者が常駐しています。校風や制度、入試などについてわからないこともお気軽にご相談ください。また、大阪府育英会による「奨学金相談コーナー」も併設。専門の担当者が随時対応しています。



8月11日(土)12日(日)
午前10時～午後5時 ※進学相談コーナーは午後4時まで
天満橋OMMビル2階 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31
●主催 大阪私立中学校高等学校連合会
●後援 大阪府、大阪市、大阪市教育委員会、日本私立中学校高等学校連合会、大阪私立中学校高等学校保護者会連合会、産経新聞社
<http://www.osaka-shigaku.gr.jp/>

お問い合わせ先

詳しくはWEBで

大阪私学

検索

大阪私立中学校高等学校連合会

〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20私学会館内

TEL.06-6352-4761

大阪府内の 私立中学校

【男子校】

大阪星光学院
清風

高明

槻星

【女子校】

大阪薫英女学院
大阪女学院

大阪信愛女学院
大阪聖母女学院
大谷会
金蘭会

堺リベラル
四天寺
樟蔭園
城星学園

城南学園
聖母被昇天学院
相愛
帝塚山学院

梅花
プール学院

【共学校】

上宮
上宮太子

追手門学院
追手門学院大手前
大阪国際大和田
大阪産業大学附属

大阪青凌
大阪体育大学附属
大阪桐蔭
開明

関西大倉
関西創価
関西大学
関西大学第一

関西大学北陽
関西学院千里国際
近畿大学附属
金蘭千里

建賢明学院
金剛学園
金光大阪

金光八尾
四條畷学園
四天王寺羽曳丘
常翔学園

常翔啓光学園
昇陽
清教学園
清風南海

帝塚山学院泉ヶ丘
東海大学付属仰星
同志社香里
浪速

羽衣学園※
初芝富田林
初芝立命館
PL学園

箕面自由学園
桃山学院
履正社学園豊中
早稲田摂陵

大阪学芸中等教育学校

※平成25年度より女子校→共学校

上記は平成25年度に生徒募集を行う学校です